

全身用超高速マルチスライスCT

国立病院機構神奈川病院 放射線科

当院は地域の皆様の健康と病気の早期発見・治療のため、卓越した性能を持つ全身用マルチスライスCT(64列)を導入しています。

この装置は脳血管、肺などをはじめ、全身の情報を高精細な画像データとしてコンピュータ処理を行ないます。そのため従来のCT装置では不可能だった高度な三次元(3D)画像処理による病気の診断を短時間で行なうことが可能になりました。

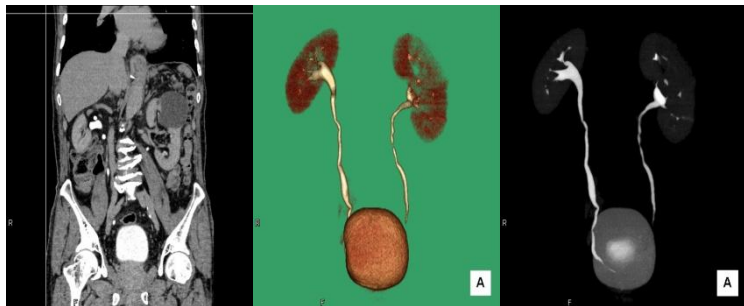
また、高度な心臓検査が13秒程度の息止めと造影剤(肘から注入)にて検査可能になりました。



心臓CT

最新の画像処理

あらゆる角度での画像再構成が可能です。これにより病変部を最適な角度で描出することが可能で診断能力の向上に寄与します。



腎がん、膀胱がん、尿路結石が疑われる場合CTウログラフィは非常に有用で尿路系以外の腹部の情報を得られるメリットもあります。

最適造影タイミングでの撮影

高速撮影とリアルプレップ(モニタリング機能)により造影検査における撮影タイミングを最適化することが可能です。

血管描出を目的とする検査では個人の血流速度が画像に影響するという問題点があります。リアルプレップによりこの問題点が解決されます。

